

◇ 技術分野（令和5年度版シラバス） ◇

(ア) 授業の約束 ほんじてってい 【凡事徹底】

● チャイム前の着席を	● 身の回りの整理整頓を	● 礼儀正しい挨拶を
● 人の話は、顔を上げて	● 発言は挙手をしてから	● 提出物は期限厳守
● 実習の服装は、ジャージで	● 片付け・清掃は全員で	● “みんなの授業”という意識を

(イ) 持ち物（3点セット）

- 教科書（技術分野）・ハンドノート（2年、3年）・授業ノート（1年）・ファイルの3点セットは、常に用意する。
- その他必要なものについてはその都度連絡します。

(ウ) 定期考査について

- 1・2学期期末考査、3学期学年末考査のみ実施します。1・2学期中間考査は実施しません。
- 各定期・学年末考査では、【知識・技能】【思考力・判断力・表現力】【主体的に学習に取り組む態度】の3観点に関する問題が出題されます。
- 教科書・ハンドノート（授業ノート）からだけでなく、授業で使用したワークシートからも出題します。
- テスト後にワークシートなどを回収することが多いです。ワークシートは必ずファイルで管理して、紛失しないように心掛けましょう。

(エ) 日々の学習について

- 授業で学んだことを、日々の日常生活で生かしてもらえると嬉しいです。
- テレビや新聞などのニュースに関心を持ち、「自然環境・環境問題」「資源やエネルギー」「日本の技術革新」等に関する記事については普段から関心をもっていると学校での授業がより深まります。
- 夏休みに発明創意くふう展に出展する作品を1点制作してもらいます（令和5年度は家庭科の宿題）。早いうちから構想を立て、考えておくとういでしょう。

(オ) 学習内容【第1学年 技術分野】

時間 25/35	学習 内容	題材名	学習のねらい
3	ガイダンス	1. オリエンテーション① 2. オリエンテーション② 3. オリエンテーション③	○ 技術分野の学習内容に理解する ○ ものづくりに込められた思いを知る。 ○ 安心・安全な作業に向けて主体的に考える。
2	A 材料と加工	1. 生活や社会を支える材料と possible の技術 2. 身の回りにある材料と加工の技術	○ 材料と加工の技術が生活や社会で果たしている役割に気づく ○ 材料と加工の技術に関する製品に込められた工夫やしぐみを調べる。
2		1. さまざまな材料と加工の技術 2. 木材の材料と加工の技術 3. 金属の材料と加工の技術	○ 身の回りの製品に利用されている材料の種類と加工方法を知る。 ○ 木材の性質を利用した、材料と加工の技術を知る。 ○ 金属の性質を利用した材料と加工の技術を知る。
1		1. 構造をじょうぶにする技術	○ 製品をじょうぶにするための形状や構造を知る。
4		1. 製図	○ 製作品を図に表す方法を知る。 ○ 構想図や製作図を正しくかき表すことができる。
12		1. 問題解決の流れ 2. 問題の発見と課題の設定 3. 設計 使用教材 フットスツールミニ (踏み台)	○ 材料と加工の技術による問題解決の手順を知る。 ○ 材料と加工の技術に関する製品にある問題解決の視点について考える。 ○ 身近な生活における問題を発見する。 ○ 発見した問題を解決するための課題を設定する。 ○ 設計の流れと必要な要素を知る。 ○ 設定した課題に向けた設計を行う。
		1. 材料取りと部品加工 2. 組立てと仕上げ	○ 材料取りと部品加工に必要な作業の役割と方法を知る。 ○ 正確に材料取りと部品加工ができる。 ○ 木材の組立てと仕上げをする工具や機器の使い方を知る。 ○ 正確に組立てと仕上げができる。
1		1. 材料と加工の技術の学習を振り返ろう 2. 材料と加工の技術と私たちの未来	○ 材料と加工の技術での学習をふり振り返り、技術の見方・考え方について確認する。 ○ 材料と加工の技術を評価し、適切な選択と管理・運用のあり方や、新たな発想に基づく改良と応用について考える。

※10/35 時間は、A『材料と加工の技術(未学習部分)』B『生物育成の技術』・C『エネルギー変換の技術』
D『情報の技術(1-4 情報セキュリティと情報モラル)』を取り扱います。内容は、未定です。

◇ 技術分野（令和5年度版シラバス） ◇

(ア) 授業の約束 ほんじてってい 【凡事徹底】

● チャイム前の着席を	● 身の回りの整理整頓を	● 礼儀正しい挨拶を
● 人の話は、顔を上げて	● 発言は挙手をしてから	● 提出物は期限厳守
● 実習の服装は、ジャージで	● 片付け・清掃は全員で	● “みんなの授業”という意識を

(イ) 持ち物（3点セット）

- 教科書（技術分野）・ハンドノート（2年、3年）・授業ノート（1年）・ファイルの3点セットは、常に用意する。
- その他必要なものについてはその都度連絡します。

(ウ) 定期考査について

- 1・2学期期末考査、3学期学年末考査のみ実施します。1・2学期中間考査は実施しません。
- 各定期・学年末考査では、【知識・技能】【思考力・判断力・表現力】【主体的に学習に取り組む態度】の3観点に関する問題が出題されます。
- 教科書・ハンドノート（授業ノート）からだけでなく、授業で使用したワークシートからも出題します。
- テスト後にワークシートなどを回収することが多いです。ワークシートは必ずファイルで管理して、紛失しないように心掛けましょう。

(エ) 日々の学習について

- 授業で学んだことを、日々の日常生活で生かしてもらえると嬉しいです。
- テレビや新聞などのニュースに関心を持ち、「自然環境・環境問題」「資源やエネルギー」「日本の技術革新」等に関する記事については普段から関心をもっていると学校での授業がより深まります。
- 夏休みに発明創意くふう展に出展する作品を1点制作してもらいます（令和5年度は家庭科の宿題）。早いうちから構想を立て、考えておくとういでしょう。

(オ) 学習内容【第2学年 技術分野】

時間 31/35	学習 内容	題材名	学習のねらい
1		1. オリエンテーション①	
3	B 生物 育成 の 技 術	1. 問題解決の流れ 2. 生物育成の計画の立て方	使用教材 白松菜 ○ 生物育成の技術による問題解決の手順を知る。 ○ 設定した課題に応じて生物の育成計画を立てる。
1		1. 生活や社会を支える生物育成の技術 2. 身の回りにおける生物育成の技術	○ 生物育成の技術が生活や社会に果たしている役割に気づく。 ○ 生物育成の技術に込められた工夫やしぐみを調べる。
3		1. 作物の栽培技術	使用教材 小松菜 ○ 作物栽培の意義や作物が成長する条件を知る。 ○ 作物の特性に合わせて、効率よく安全に栽培するために必要な技術を知る。
3		2. 水産生物の栽培技術	○ 水産生物栽培の意義や栽培に必要な条件を知る。 ○ 水産生物の習性に合わせて、効率よく安全に栽培するために必要な技術を知る。
1		3. 動物の飼育技術 4. 森林の育成技術	○ 家畜飼育の意義や飼育に必要な条件を知る。 ○ 家畜の習性に合わせて、効率よく安全に飼育するために必要な技術を知る。 ○ 日本の森林資源とその状況を知る。 ○ 木材の生産に必要な人工林の育成技術を知る。
1		1. 生物育成の技術の学習をふり返ろう 2. 生物育成の技術と私たちの未来	○ 生物育成の学習をふり返り、技術の見方・考え方について考える。 ○ 生物育成の技術を評価し、適切な選択と管理・運用のあり方や、新たな発想に基づく改良と応用について考える。
1		C エネ ルギ ー 変 換 の 技	1. 生活や社会を支えるエネルギー変換の技術 2. 身の回りにおけるエネルギー変換の技術
1	1. エネルギーの利用 2. 燃料を利用した技術 3. 発電と送電のしくみ		○ エネルギーが社会で利用されるために必要な変換や輸送について知る。 ○ エネルギー資源の種類を知る。 ○ 燃料を利用した技術のしくみを知る。 ○ 発電と送電のしくみを知る。 ○ 安定した発電をするためのしくみを知る。

5	術	1.電気エネルギーの特徴 2.光や熱に変換するしくみ 3.電気回路と回路図 4.電気機器の安全な利用 5.電気機器の保守点検	使用教材 テーブル タップ	<input type="checkbox"/> 私たちが利用している電源の種類や特徴を知る。 <input type="checkbox"/> 電気エネルギーを光や熱へ変換するしくみとその特徴を知る。 <input type="checkbox"/> 電気機器の構成を知る。 <input type="checkbox"/> 電気回路を、回路図を使って表すことができる。 <input type="checkbox"/> 電気機器の定格について知る。 <input type="checkbox"/> 電気機器を安全に利用するためのしくみを知る。 <input type="checkbox"/> 電気機器を保守点検する方法を知る。 <input type="checkbox"/> 電気機器の適切な保守点検ができる。
7		1.問題解決の流れ	使用教材 コンポ cafe	<input type="checkbox"/> エネルギー変換の技術を利用した問題解決の手順を知る。
1		1.エネルギー変換の技術の学習をふり返ろう 2.エネルギー変換の技術と私たちの未来		<input type="checkbox"/> エネルギー変換の技術での学習をふり返り、技術の見方・考え方について考える。 <input type="checkbox"/> エネルギー変換の技術を評価し、適切な選択と管理・運用のあり方や、新たな発想に基づく改良と応用について考える。
1		1.生活や社会を支える情報の技術 2.身の回りにある情報の技術		<input type="checkbox"/> 情報の技術が生活や社会で果たしている役割に気づく。 <input type="checkbox"/> 情報の技術に関する製品やサービスに込められた工夫やしくみを知る。
2		1.コンピュータの構成 2.コンピュータの機能と装置		<input type="checkbox"/> コンピュータシステムの構成を知る。 <input type="checkbox"/> ソフトウェアのはたらきを知る。 <input type="checkbox"/> コンピュータがもつ主な機能を知る。 <input type="checkbox"/> コンピュータの主な装置のしくみを知る。

※4/35 時間は、A『材料と加工の技術(未学習部分)』B『生物育成の技術(未学習部分)』・C『エネルギー変換の技術(未学習部分)』・D『情報の技術』を取り扱います。内容は、未定です。

◇ 技術分野（令和5年度版シラバス） ◇

(ア) 授業の約束 ほんじてってい 【凡事徹底】

● チャイム前の着席を	● 身の回りの整理整頓を	● 礼儀正しい挨拶を
● 人の話は、顔を上げて	● 発言は挙手をしてから	● 提出物は期限厳守
● 実習の服装は、ジャージで	● 片付け・清掃は全員で	● “みんなの授業”という意識を

(イ) 持ち物（3点セット）

- 教科書（技術分野）・ハンドノート（2年、3年）・授業ノート（1年）・ファイルの3点セットは、常に用意する。
- その他必要なものについてはその都度連絡します。

(ウ) 定期考査について

- 1・2学期期末考査、3学期学年末考査のみ実施します。1・2学期中間考査は実施しません。
- 各定期・学年末考査では、【知識・技能】【思考力・判断力・表現力】【主体的に学習に取り組む態度】の3観点に関する問題が出題されます。
- 教科書・ハンドノート（授業ノート）からだけでなく、授業で使用したワークシートからも出題します。
- テスト後にワークシートなどを回収することが多いです。ワークシートは必ずファイルで管理して、紛失しないように心掛けましょう。

(エ) 日々の学習について

- 授業で学んだことを、日々の日常生活で生かしてもらえると嬉しいです。
- テレビや新聞などのニュースに関心を持ち、「自然環境・環境問題」「資源やエネルギー」「日本の技術革新」等に関する記事については普段から関心をもっていると学校での授業がより深まります。
- 夏休みに発明創意くふう展に出展する作品を1点制作してもらいます（令和5年度は家庭科の宿題）。早いうちから構想を立て、考えておくとういでしょう。

(オ) 学習内容【第3学年 技術分野】

時間 17/17.5	学習 内容	題材名	学習のねらい	
1	D.情報の技術	1.オリエンテーション①		
2		1.コンピュータを使って機器を自動で動かすしくみ 2.コンピュータによる処理のしくみ 3.プログラムの構造と表現	使用教材 Scratch	○ 計測・制御システムの基本的なしくみを知る。 ○ 計測・制御システムの各要素のはたらきを知る。 ○ プログラムによる処理の自動化のしくみを知る。 ○ 処理の流れや手順を表す方法を知る。 ○ 処理の流れや手順を図で適切に表現できる。
1		1.情報のデジタル化 2.デジタル情報の特徴		○ 情報のデジタル化のしくみを知る。 ○ デジタル情報と情報の量の関係を知る。
3		1.問題解決の流れ 【計測・制御】	使用教材 Scratch	○ 計測・制御のプログラミングを利用した問題解決の手順を知る。
4		1.問題解決の流れ 【双方向性】 2.情報通信ネットワークのしくみ	使用教材	○ 双方向性のあるコンテンツのプログラミングを利用した問題解決の手順を知る。 ○ 情報通信ネットワークの構成や情報をやりとりするしくみを知る。
5		1.使いやすさを工夫した情報の表現 2.メディアを利用した情報の表現 3.Webのしくみと情報の表現	ライフ・イズ・テック	○ 情報の使いやすさやわかりやすさに関する工夫を知る。 ○ 情報の表現手段やコンテンツの特徴を知る。 ○ Webにおける情報の表現方法を知る。
2		1.情報の技術の学習をふり返ろう 2.情報の技術と私たちの未来		○ 情報の技術での学習をふり返り、技術の見方・考え方について考える。 ○ 情報の技術を評価し、適切な選択と管理・運用のあり方や、新たな発想に基づく改良と応用について考える。